

レジメンcode:	C15-18	備考
適応がん種:	食道癌	
レジメン名:	Nivolumab + FP	
間隔:	4週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	オプジー ^ボ	480	mg/body	点滴(30分)	d1
CDDP	シスプラチ ^ン (ブリプラチ ^ン)	80	mg/m ²	点滴(2時間)	d1
5-FU	フルオロウラシル(5-FU)	800	mg/m ²	点滴(24時間)	d1~5

★尿量確保に注意し、必要に応じてマンニトール及びフロセミド等の利尿剤を投与する。

day1【ケモセーフ使用】

1) 生食	20ml	1 A	ポート確認
2) 硫酸Mg補正液		1 A	
生食	500ml	1 袋	
	主管①	点滴	2時間
3) 生食	500ml	1 袋	
	主管②	点滴	2時間
4) オプジー ^ボ		480 mg/body	
生食	100ml	1 本	
	主管③	点滴	30分 インラインフィルター必須
5) 生食	50ml	1 本	
	主管④	点滴	15分
6) ホスアプレピタント	150mg	1 V	
生食	100ml	1 本	
	主管⑤	点滴	30分
7) パロノセトロン	0.75mg	1 V	
デキサート	6.6mg	1 V	
デキサート	3.3mg	1 A	
生食	50ml	1 本	
	主管⑥	点滴	15 分
8) シスプラチ ^ン (ブリプラチ ^ン)		80 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
生食	500ml	総液量650ml以下になるように生食を調製	
	主管⑦	点滴	2時間
9) フルオロウラシル(5-FU)		800 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋	
	主管⑧	点滴	24時間

10) マンニットールS	300ml	1 袋	
	▶側管① 点滴	1時間	主管⑧と同時に
11) ソルラクト	1L	1 袋	
	▶側管② 点滴	4時間	側管①に続いて

〈所要時間 →〉

day2、3【ケモセーフ使用】

1) デキサート	6.6mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	▶側管① 点滴	15 分	
2) 硫酸Mg補正液		1 A	
生食	1000ml	1 袋	
	▶側管② 点滴	4時間	
3) フルオロウラシル(5-FU)		800 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋	
	主管① 点滴	24時間	前日の主管に続いて

〈所要時間 →〉

day4、5【ケモセーフ使用】

1) デキサート	6.6mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	▶側管① 点滴	15 分	
2) フルオロウラシル(5-FU)		800 mg/m ²	【ケモセーフ使用】
生食	1000ml	1 袋	
	主管① 点滴	24時間	前日の主管に続いて

〈所要時間 →〉

day6

1) 生食	50ml	1 本	
		フラッシュ	
2) ヘパリンNaロック	10ml	1 筒	
		ルートロック	

〈所要時間 →〉

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験【CheckMate-648(ONO-4538-50/CA209648)試験 NEJM2022;386:449–62(PMID 35108470)】

【適応】

*根治切除不能な進行・再発食道癌

CheckMate-648試験の対象：化学療法未治療の扁平上皮癌又は腺扁平上皮癌（主に扁平上皮癌が分化）と診断され
大動脈、気管等への明らかな浸潤を認めない患者

*PD-L1発現の有無は問わない。

*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に
内分泌機能検査を実施すること。

◎検査セット登録あり：場所 カルテ→（検体）→（特殊セット）→（免疫チェックポイント初回）（免疫チェックポイント2回目～）

*オンラインフィルター（0.2又は $0.22\mu m$ ）を使用する。

*希釈後の最終濃度 $0.35mg/ml$ 以上にすること

*他剤との混注はしない。

*1回480mg投与時の総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする。

*有害事象（肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など）対処アルゴリズムを参照する。

*臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。